



平成 16 年 11 月 25 日

各 位

会 社 名 AOCホールディングス株式会社  
代表者名 取締役社長 坂本 吉弘  
(コード番号 5017 東証第一部)  
問合せ先 IRグループ  
ジェネラル・マージャー 関川 宏一  
(TEL 03-5463-5065)

### 平成 17～19 年度中期事業計画の策定について

当社は、平成 16 年 11 月 25 日開催の取締役会において、平成 17～19 年度中期事業計画を新たに策定いたしましたので、その概要を以下のとおりお知らせいたします。

#### 1. 策定方針

「グループの一元的運営を通じてグループ全体の最適化を追求し、各ステークホルダー価値の最大化を図る」との当社の経営基本方針に基づき、本計画期間を将来の飛躍へ向けた基礎固めの 3 ヶ年と位置づけ、「収益基盤の安定化」と「積極的な投資」をグループ一丸となって推進してまいります。

#### 2. 事業環境

世界の石油需要増加、産油国の供給余力低下、不透明な中東情勢等により高騰した原油価格は、世界経済の成長鈍化、産油国の生産能力増強等を受けて、ドバイ原油で 30 ドル台前半まで下げた水準で推移し、世界経済も米国、アジアを中心に安定成長に転じるものと見込んでおります。

#### 3. 計画の概要

##### 上流部門

- ・カフジ共同操業への技術・経営管理サービス業務提供の継続、拡大
- ・経営資源の有効活用の観点から既存プロジェクトの見直し
- ・中東、北アフリカ、中央アジアをコア・エリアと定め、早期資金回収を期待しうるローリスクの新規プロジェクトへの積極的な投資展開

##### 下流部門

- ・低コスト生産体制の維持、強化
- ・アジア地域を中心に高付加価値製品の販売拡大
- ・製品の軽質化、高付加価値化に向けた設備増強

#### 4. 収益計画（連結）

（単位：億円）

	平成 16 年度 （見通し）	平成 17 年度 （計画）	平成 18 年度 （計画）	平成 19 年度 （計画）
売上高	4,500	3,910	4,250	4,480
経常利益	135	94	115	98
上流（*）	26	31	27	11
下流	109	63	88	87

（\*）新規案件投資からの期待収益は含んでおりません。

前提条件（各年度）： 原油価格      32.5 ドル/バーレル（ドバイ原油）  
                            為替レート      110 円/ドル

#### 5. 経営目標

##### 積極的な投資展開

新規上流案件および製品高付加価値化に向けた精製設備増強を中心に約 160 億円規模の投資を積極的に実施します。

- ・ 上流    既発見油・ガス田の開発および既生産油・ガス田の生産能力増強案件等への 120 億円規模の投資
- ・ 下流    既存設備能力増強、収益改善等への 40 億円規模の投資

##### 収益基盤の安定化

中期事業計画の実施を通じ、収益基盤の底上げを図り、外部事業環境に拘らず平成 19 年度における経常利益 100 億円台の達成と維持を目指します。

##### 財務体質の改善

平成 19 年度末における自己資本比率 25% 超の達成と維持を目指します。

なお、本資料記載の予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後様々な条件・要因により予想数値と異なる場合があります。

以上